

令和5年度第3回西淀川区区政会議

1 開催日時：令和5年12月20日（水）午後6時30分～午後8時32分

2 開催場所：西淀川区役所5階 会議室

3 出席者の氏名：

（委員：敬称略、50音順）

麻井、伊関、今前田、浦中、大垣、大西、岡崎、岡本、川寄、木村、倉方、竹内、
多田、田中、寺脇、西垣、樋口、平井、平林、松岡、森田、矢口、吉見

（事務局：西淀川区役所）

中島区長、難波副区長、奥本総務課長、西尾政策共創課長、近藤地域支援課長、
木村安全まちづくり担当課長、松本窓口サービス課長、貴志保健福祉課長、
山城生活支援担当課長、横内こども福祉担当課長、青木保健主幹

（府会議員）

中川誠太府議会議員

（市会議員）

佐々木哲夫市議会議員、山田かな市議会議員、山田はじめ市議会議員

4 議題

（1）議長・副議長の互選について

（2）令和6年度西淀川区運営方針の策定に向けて

（3）その他

5 議事内容

○西尾課長

皆さん、こんばんは。ただいまから第3回区政会議を開催させていただきます。

本日の会議は、現時点で22名の参加がありまして、定員27名の過半数を超えておりますことから、会議が成立していることを確認いたします。

本日の進め方についてご説明をさせていただく前に、本日は新しい任期での第1回目の会議ですので、初めに区長より皆様へ一言ご挨拶させていただきます。

○中島区長

どうも皆さん、こんばんは。夜遅くに、そして寒い中、ご来場いただきましてありがとうございます。

本日の会議でございますが、今回は委員の一部の方の改選期に当たりましたので、本日初めての方がいらっしゃいます。ぜひよろしく願いいたします。

本日の内容ですけれども、来年度の運営方針（案）を作っておりますので、それについて説明させていただきたいと思います。来年度の運営方針（案）を作るに当たりまして、2つの点を特に考慮いたしました。1点目でございますが、今まで以上に力を注ぐ点について、できるだけ具体的にしようとしております。それから2点目としまして、その事業をやった後に、実際その事業が本当に有効であったかしっかり検証しよう。検証するためには、やっぱり目標をできるだけ具体的に立てておこうということが今回考慮した点でございます。後ほど案の説明もさせていただきますので、その後に、ぜひ皆様方からいろんなご意見をいただきまして、修正できるところについては修正していきたいなと思ってございますので、どうぞよろしく願いいたします。

○西尾課長

続きまして、各委員の皆様から、人数も多くございますので、所属と氏名のご紹介ということで、ご自分でご紹介いただきたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

それでは、マイクを回させていただきますので、よろしく願いいたします。

○麻井委員

皆さん、こんばんは。西淀川区社会福祉協議会の麻井と申します。どうぞよろしく願いいたします。

○伊関委員

こんばんは。子育て支援に関わっておりますNPO法人にしよどにこネットの伊関と申します。よろしくお願いいたします。

○今前田委員

皆さん、こんばんは。西淀川地区保護司会の今前田と申します。よろしくお願いいたします。

○浦中委員

こんばんは。西淀川区居宅介護支援事業所連絡会の副代表をしています浦中と申します。よろしくお願いいたします。

○大垣委員

こんばんは。地域活動協議会の方をやらせていただいています大垣です。よろしくお願いいたします。

○大西委員

NPO法人くるるの大西と申します。地域で子育て支援に携わらせていただいています。よろしくお願いいたします。

○岡崎委員

皆さん、初めまして。大阪市生涯学習推進員の西淀川区副代表をさせていただきます。おります岡崎と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

○岡本委員

こんばんは。西淀川区スポーツ推進委員協議会会長をさせていただきます。おります岡本です。どうぞよろしくお願いいたします。

○川寄委員

皆さん、こんばんは。西淀川防犯協会の会長をしております川寄でございます。よろしくお願いいたします。

○木村委員

西淀川区老人クラブ連合会よりまいりました木村と申します。よろしく。

○倉方委員

こんばんは。区内の学童保育で働いてる倉方と申します。よろしく申し上げます。

○竹内委員

西淀病院の竹内と言います。よろしく申し上げます。

○多田委員

こんばんは。西淀川で防災啓発活動をさせていただいております大阪防災企画の多田と申します。よろしく申し上げます。

○田中委員

皆さん、こんばんは。西淀川区民生委員児童委員協議会副会長の田中と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

○寺脇委員

こんばんは。西淀川区青少年福祉委員連絡協議会の会長をさせていただいております寺脇と申します。よろしく申し上げます。

○西垣委員

皆様、こんばんは。西淀川区青少年指導員連絡協議会の西垣です。よろしく申し上げます。

○平林委員

皆さん、こんばんは。柏里3丁目商店街振興組合の理事長をさせてもらってます平林康男と申します。よろしくお願いいたします。

○平井委員

皆さん、こんばんは。私、香簞連合の連合会長をさせていただいております平井と言います。どうぞ皆さんよろしくお願いいたします。

○樋口委員

皆さん、こんばんは。人権啓発推進員西淀川区連絡会でさせていただいております樋口恵子です。よろしくお願いいたします。

○松岡委員

こんばんは、よろしくお願いします。フリーランスでアートコーディネーターと舞台俳優をしています松岡と申します。西淀川区内にシェアオフィスをしております。よろしくお願いします。

○吉見委員

こんばんは。入浴サービス株式会社の吉見と申します。大和田で訪問入浴介護という介護の仕事をさせていただいております。よろしくお願いします。

○矢口委員

お世話になります。矢口でございます。出来島地域からまいりました。地域活動協議会でも活動のほうをさせていただいております。本日、皆様とお会いできることをとても楽しみにしておりました。ぜひ本日はよろしくお願いいたします。

○森田委員

こんばんは。西淀川区PTA協議会からまいりました森田と申します。よろしくお願いいたします。

○西尾課長

ありがとうございました。

それでは、まず、本日の議題1でございます、議長・副議長の互選につきまして、区政会議に関する条例第7条1項により、区政会議の議長・副議長は委員の互選により選任するという規定になっております。これにつきまして、どなたか立候補、ご推薦等ございますでしょうか。

どうぞ。

○平井委員

改めまして、皆さん、こんばんは。先ほど申し上げましたように、香簾連合の会長をさせていただいております平井です。

最初にお話しするのも心苦しいですが、私は今回の議長に、今までどおり西淀

川区地域活動協議会の大垣会長さんをお願いしたいなと思っています。いろいろご意見があるかとは思いますが、どんどんお話ししていただいたらよろしいかと思いますが、どうか（議長に）なっていただいて、区制100周年、このお祭りを盛大に皆さんと一緒に祝いをしたいなという気持ちがあるので、私は大垣会長をお願いしたいと考えておりますので、どうかよろしくお願いします。一番バッターで申し訳ないですが、あと、よろしく願いいたします。

○西尾課長

今、「大垣議長」ということを推薦ございました。皆さん、ご異議ございませんでしょうか。

（拍手）

○西尾課長

それでは、引き続きまして、副議長も立候補かご推薦等ございますでしょうか。

大垣会長。

○大垣委員

副議長ですが、一般公募から来てくださっています矢口さんをお願いしたいと思います。よろしければどうでしょうか。

○西尾課長

よろしいでしょうか。

（拍手）

○西尾課長

皆さんご異議がなければ、大垣委員と矢口委員、書類を持って前に来ていただいてもよろしいでしょうか。

それでは、就任に当たりまして、議長・副議長から一言ご挨拶をよろしくお願いいたします。

大垣議長、よろしくお願い致します。

○大垣議長

こんばんは、元気な大垣です。こうやって今、議長を仰せつかりましたけど、前回は、5年度もやらせていただいていたのですが、区政会議が動いていっておりますけど、その中の半分ぐらいしか行事が動いていないような感じもいたしまして、「また（議長を）やってくれ」ということを今平井会長から言われたのですが、2年先に区制100周年がそこまでもう来ておりますので、またそれに向かって皆さん方の知恵を借りたいなと思っておりますので、よろしく願いいたします。以上です。

(拍手)

○矢口副議長

矢口でございます。よろしく願いいたします。

この会議、大垣会長の下で活動できること、非常にうれしく思っております。何よりも、この活動、お力になれるように頑張っていきたいと思っておりますので、ぜひ皆様、よろしく願いいたします。

(拍手)

○西尾課長

それでは、以後の進行につきましては大垣議長に務めていただきますので、大垣議長、よろしく願いいたします。

○大垣議長

それでは、まず区役所のほうから、本日の進め方、説明をお願いいたします。

○西尾課長

それでは、本日の進め方についてですが、議題1の議長・副議長の互選につきましては終わりましたので、残りの議題としましては、議題2の「令和6年度西淀川区運営方針の策定に向けて」、そして、議題3の「その他」を予定しております。

資料の確認をさせていただきます。まず、次第が1枚ございまして、続きまして、資料1としまして、配席図と裏面が委員名簿となっております。資料2としまして、

「令和6年度運営方針の策定について」というホチキス留めの資料。それから、資料3としまして、「令和5年度第3回西淀川区区政会議グループ討議について」の資料でございます。そして、資料4としまして、「デジタルツールを活用した区政への区民参画の充実について」という資料でございます。もし資料に不備等ございましたら、挙手いただきますようお願いいたします。よろしいでしょうか。

そして、この区政会議は、実施状況についてホームページや広報紙などで報告させていただきます。様子がより伝わるように写真も掲載させていただきますので、会議中、写真を撮らせていただきますので、ご了承いただきますようよろしくお願いいたします。

それでは、議長、お願いいたします。

○大垣議長

それでは、進めさせていただきます。

議題としまして、令和6年度西淀川区運営方針について、よろしくお願いいたします。事務局からよろしく頼みます。

○西尾課長

それでは、電気を消させていただいて、スライド、前方でございますけれども、令和6年度運営方針の策定についてご説明をさせていただきます。

運営方針は、各所属における当該年度の施策の選択と集中の方針を明示し、その概要を示すものでして、令和6年度に特に力を入れて行う事業を策定するもので、運営方針に掲載していない事業も、これまでどおり実施する事業もたくさんございますので、よろしくお願いいたします。

今後の流れを議題に書かせていただいておりますけれども、令和6年2月中旬に運営方針（案）の公表をさせていただき、令和6年3月の区政会議で議論いただきます。そして、区政会議での意見等を反映して、令和6年4月上旬に運営方針の確定・公表を行いますので、よろしくお願いいたします。

次の2ページでございます。目標としては、昨年度に続き「活気があり、笑顔にあふれ、常に進化するまち」としております。「使命」「基本的な考え方」も昨年度を踏襲しております。西淀川区の特徴であります地域のつながりが強いことを意識して、住民同士や事業者間の連携を強化することで、活性化や魅力向上を目指していきたいと考えております。

また、2025年の大阪・関西万博を見据え、「基本的な考え方」に、下から2つ目ですけれども、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた取組を推進ということを追加させていただいております。

そして、続きまして、3ページ目でございます。令和6年度に特に力を入れて行う5つの事業として、「区制100周年（2025年）に向けた、共創による「選択されるまち」としてのまちの魅力向上」、「こどもたちがいきいきと育つ環境整備」、「地域コミュニティの機能向上」、「防災力の強化」、「誰もがいきいきと暮らせる温かいまちづくり」ということで、5つの柱を据えさせていただきます。これから順次、各課長から説明をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

まず1つ目、「区制100周年（2025年）に向けた、共創による「選択されるまち」としてのまちの魅力向上」ということで、課題認識としましては、西淀川においても今後高齢化、そして人口減少が見込まれています。「住むなら西淀川」と言われるように、SDGs推進、健康寿命の延伸の取組先進区をめざし、共創によりまちの魅力向上を図る必要があるとしております。

戦略・行動の1つ目に、「「にしよどがわ万博」を開催し、多くの区民、団体、企業等を巻き込みSDGsを推進」としております。大阪市は、2025年の大阪・関西万博の機運を地元から盛り上げるため、全市的な取組として「24区万博」というのを実施しております。西淀川区では「にしよどがわ万博」として取り組んでおりまして、この「にしよどがわ万博」は、大阪・関西万博の主目的であるSDGsについて、多くの区民、事業者の方が考え実行することで、より一層すばらしいまち・西淀川区を

実現するため、また、2025年に迎える区制100周年とその先の未来につながる取組として進めております。今年度につきましては、タイムカプセル事業や区民まつり、健康いきいき展、にしよど音楽祭、にしよどバルなどを「にしよどがわ万博」として取り組んでまいりました。来年度も、引き続き実施してまいりたいと考えております。

2つ目は、「官民共創を主体とした「ウェルビーイング西淀川」における取組、「区民のがんりテラシーの向上」、「区内企業の健康経営の推進」」です。「ウェルビーイング西淀川」は、幸福・健康・環境を主なテーマとして、健康経営や地域の健康などに関心のある企業・団体等が集うワークショップを開催してありまして、民民共創や官民共創を推進しております。そこで、企業・団体とのネットワークを構築するとともに、西淀川区の社会課題を解決し、区民の満足度向上、区の魅力向上に寄与する取組を進めてまいります。

3つ目は、「区役所公式LINEのさらなる充実等による伝わる情報発信」ということで、様々な手法により区民の皆さんに行政情報が伝わるように、伝わる情報発信に努めてまいりたいと考えております。

指標につきましては、記載のある4つの指標を目標に来年度取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

1つ目の説明は以上でございます。

続きまして、2つ目の資料でございます。

○横内課長

こども福祉担当課長の横内でございます。いつもお世話になっております。

2つ目、「こどもたちがいきいきと育つ環境整備」ということで、課題認識としましては、「孤独・孤立を防ぎ、こどもと保護者に寄り添う支援が必要」という課題を認識しております。西淀川区では、たくさんのこどもたちを支援する団体・行政のいろいろな支援メニューが今年度、来年度はまたさらにどんどん高まっていきつつございます。西淀川区では、こども福祉担当グループとしまして、学校園と一緒にあって

こどもたちを支援する体制を取っております。肝になることとしまして、いかに学校でこどもたちや保護者の相談を行政につなげるか、支援団体につなげるか、そういうことが課題だと認識しております。

これによりまして、令和6年度につきましては、スクールカウンセラーの配置を拡充させていただきまして、学校で児童生徒やその保護者の悩みに寄り添うことができる体制をつくりたいと思っております。スクールカウンセラーといいますのは、こどもたちが学校に来たときに相談できる、保護者が悩みを相談できる、そういったカウンセラーでございます。「そのカウンセラーを、来年度には小学校・中学校に週1回必ず配置できるように」ということで、この二、三年間予算を増額して取り組んでまいりました。来年度はそういう体制ができる完成の年ですので、そういったことをしっかりやっていきたいと思っております。

もう一つは、就学前のこどもを地域の子育て支援につなぐコーディネーターとしまして、区役所に「こそだてコンシェルジュ」というのを2名体制で置かせていただきたいと思っております。区政会議でも、「区役所に誰か1人、こどものことで相談に来たときに、どこかにちゃんとつないでくれる人がいたらな」という声を、ずっと過去から聞いておりました。こういった声を受けまして、「こそだてコンシェルジュ」というのを作りまして、しっかり行政、各機関、子育て支援団体それぞれにつなげていきたいと思っております。

いかにしっかり相談者の心をくみ取り、しかるべきところにつなげるか、そういったところを課題として認識しておりますので、力を入れて来年度やっていきたいと思っております。

指標につきましては、下記でございます。よろしく申し上げます。

○近藤課長

皆さん、こんばんは。地域支援課長の近藤です。よろしくお願いいたします。私のほうから、「地域コミュニティの機能向上」についてご説明させていただきます。

まず、課題認識でございますが、「新たな時代に対応した地域コミュニティの機能の構築及び強化」としております。1つ目ですが、防災・防犯のためにも、人と人とのつながりの希薄化への対策が必要であると考えております。2つ目、地域の担い手となる人材の確保・育成を課題認識としております。

大阪市では今、町会加入の促進戦略を策定中でございます。西淀川区の場合は、大阪市でも町会加入率は高い方でございます。ただ、どこの地域も、町会に限らずですけれども、加入率が下がっているというところで、今年度から、大阪市としましては町会加入に力を入れていこうというところでございます。その戦略の一つとしまして、集合住宅の方々への働きかけが必要ではないかということで掲げておまして、2つ目の戦略・行動に入りますが、西淀川区では、新たにマンションが着工されるエリアの町会のご意向を確認した上で、町会加入について建築事業者などの方々に働きかけをいこうと、新たに建設されるマンションなどに入居をされる前にお話をしていこうということでございます。2つ目が、希望される町会に対して、町会加入促進計画を作成し、地域と一体となって町会加入促進の対策を行うと。これは、6年度に向けて今、区役所の中でもプロジェクトチームを作ろうということで、どういう提案ができるかということは今策定中でございます。その策定案をまた町会の方々にお示しさせていただいて、その町会ごとの課題があると思いますので、そちらのほうで選択をいただくということを考えております。あと、3つ目でございます。区内で活躍されます市民活動団体の方に対して、担い手不足についてのヒアリングを実施して、関係する団体さんとの連携を促進したり、体制・機能の再構築を支援したりするということで、またそちらのほうの団体さんともお話をしていきたいと考えております。

最後です。指標、目標のところになりますが、町会加入率、令和8年度末までに70%ということになってます。今現在、西淀川区は、5年度65.4%でございます。ですので、約5%向上を目指して頑張っていきたいなと思っております。あと、町会加入促進の取組が促進されていると感じる連合町会長さんの割合を8割、町会加入促進の効

果を感じる連合町会長さんの人数を、6年度について4名以上と掲げております。

また後ほど、グループ討議でご意見いただきたいと思います。よろしく申し上げます。

○木村課長

皆さん、こんばんは。安全まちづくり担当課長の木村でございます。よろしくお願いいたします。私の方からは「防災力の強化」ということで、経営課題を上げてございます。

課題の認識でございますけども、3点上げております。まず1点目です。災害時に単独では避難が困難な方に対しまして、個別避難計画を作成するというのを上げてございます。それから、2点目として、防災に対する意識、備えにおける区民・企業の理解の差を解消しまして、一定の理解を確保するというのを課題として認識してございます。3点目として、女性視点や多様性配慮の視点を考慮した避難所の運営をしていかなければいけないと思っております。

それに対しまして、戦略・行動でございますけども、1点目でございます。先ほどの個別避難計画に関するところでございますけども、地域や福祉医療専門職と連携しまして、優先度の高い避難行動要支援者の個別避難計画を重点的に作成していこうと考えてございます。特に、限定した地域をモデル地域としまして、集中的に取り組んでいきたいと考えてございます。2点目でございます。小・中学生を対象にした防災教育プログラムを充実するというふうに考えてございます。今年度につきましては、新規校として4校、実は実施しております。それと、もう1年前ですね、継続という形で2校、合計で今年度6校、実はこのプログラムを進めている次第でございます。3点目でございます。地域・学校・企業等と連携した防災訓練等の実施によりまして、若年層、それから企業等の防災の関わりを強化するというふうに考えてございます。今年度でいいますと、地域と学校との合同の訓練ということで、実は2校実施してございます。それで、4点目でございます。女性視点や多様性の配慮の視点を反映した

備蓄物資の配備をしていくというふうに考えてございます。

以上の行動をもって、目標・指標ですね、以下に書いてある3点の目標をもって今年度は進めてまいりたいと考えてございますので、後ほど、各グループでご意見を頂戴しながら、また反映していきたいと考えております。よろしく申し上げます。

○貴志課長

皆様、こんばんは。西淀川区の保健福祉課長の貴志でございます。平素は西淀川区の保健福祉行政にご協力賜りまして、本当にありがとうございます。

私の方からは「誰もがいきいきと暮らせる温かいまちづくり」ということで、福祉部門の目標をこういうふうに掲げさせていただきました。

まず、課題の認識ですが、区内には、日常生活に関わる様々な課題を抱えた世帯の方がたくさんまだおられます。こういった方に対しまして、住民の方、あるいは行政や関係機関等が連携して改善・解決につながるような、少しでも早く、少しでも楽になるように、そういった仕組みを推進してまいりたい、それが必要だというふうに考えております。それから、それを効率的に進めるためには、縦割りで進めていくのではなくて、いろんな専門家の方々の協力を得まして、分野を横断した総合的な相談体制を作っていくことが必要かなと考えております。困った方、まだまだ区役所に来られる方、電話される方が非常に多くございますので、それを受け止める我々が、そもそも我々がきちんと対応できる力が必要になるかなと思っておりますので、職員の福祉力の強化にも取り組む必要があるかなと考えております。

こういった点から、戦略・行動ですが、西淀川区内には様々な福祉に関わる関係機関がございます。ここにちらっと書いていただけても、地域包括支援センターをはじめ、様々な福祉の関係機関がございますが、異なる分野の関係機関による学習会、あるいは連絡会を必要に応じて開催しまして、お困りの方の支援に取り組んでまいりたいと考えております。それから、職員の福祉力の強化については、話題に上がってるテーマ等につきまして、専門家を呼ぶなどして研修を重ねてまいりたいと考えております。

それから、最後の1点目ですが、地域の中にも様々な形でボランティアの活動をされている方、あるいは「ボランティアというほどでもない」とご本人さんはよくおっしゃるのですが、いろんな形で地域に貢献されておられる方がたくさんおられます。そういった方の取組等につきまして、区内事業者や地域で活動してる方に対して情報提供しまして、いわゆる福祉人材の掘り起こしについても努めてまいりたいと考えております。こういったことを通じまして、いざ困ったときに、「あっ、あの人に相談したらいいわ」、あるいは直接人が浮かばなくても、「ここに相談したら何とかなるわ」という安心を持っていただけることを目標にしまして、来年度も取組を進めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

私の方からは以上でございます。

○西尾課長

説明は以上でございます。

議長、よろしく申し上げます。

○大垣議長

ありがとうございました。

この後、グループ討議に分かれて話し合いをしますが、個別のテーマの質問については、グループの方で討議してほしいかなと思います。

今までのことと全体のことについて、意見・ご質問ありましたら、挙手にてお願いいたします。

どうぞ。

○大垣議長

よろしいか。

それでは、区役所からの説明があったとおり、まちの魅力的な向上ということですが、グループ討議を行っていく前に、私の方から大野川の道路の整備について報告させていただきたい。今まで、6年度の予定ということでは言われていたんですけど、こ

ちらも勉強させてもらいまして、議員の先生方とも打合せもしたことが少しありますので、聞いていただけますか。すみません。

大野川緑陰道路が区民の生活道路としてウォーキング、またランニングのような健康づくりに繋がっているんですけど、これをいろいろやっている中で、区政会議についてもこの話をまた取り上げていければいいかなと思っております。

先程も話があったんですけども、令和7年に区制100周年という節目の年が来ますので、区制100周年の議長と、また地域活動協議会の会長としまして、大野川緑陰道路についてという節目のことをお話しさせていただきたいと思っております。いろいろな形で建設局と、また区役所とお話もしながら、緑陰道路の中の舗装がありますね。舗装とまた路面の表示の矢印がありますね。あれがもう本当にね、もう50年も経つてくると薄くなってきておりますね。「全面に塗り替えてほしい」というようなちょっと強行的なことを議員の先生の方からもお願いをし、また建設局とも打合わせをして、前へ進めるような段階を取っております。ですので、区政会議のときにいろいろな話が出たと思いますけど、それを少しずつ前向きに進めていく形を取っております。

それと、もう一つあるのは、緑陰道路の中で桜を植えていこうというのが、行政の方から提案がありまして、緑陰道路でこの6年、7年の間に少しだけ、もう少し追加をしていこうかなということをしております。

それともう一つ、一番大切なことを言い忘れていたんですけど、歌島橋と、新歌島橋の下に自転車通路がありますね。あそこは自転車道が一本だけで今、両方とも対面通行してるのが、出来上がった当時は「あまり自転車を通らないので良いかな」というふうになっていたんですけど、これがもう数年になると、今度は自転車の方がかなりの量になってきて、また電動自転車ということでスピード感も出てくるようになって、事故というようなこともありましたので、「そのようなところを100周年に向けて何とかしてくれ」ということを、ここにおられる議員の先生方からの要望も言ってくれました。こちらの方も、区政会議に「こんなことありますけど、何とかし

ていきたい」ということで。100周年に向けて、自転車道が一本になっているところを対面通行にするということをしておりますので、「区政会議でいろいろ前向きに話をしてくれたことを、私がこうやって議長をしている間に何とかしなければならないのではないか」ということでやらせていただいていることを、長々とした話になったんですけど、これも区制100周年に向けたことをさせていただくということで、少しだけ報告をしながら、またこれから先に前へ進めていくことになったときには、また区政会議でいろいろ報告をさせていただきます。以上です。

どうぞ。

○西尾課長

ありがとうございます。

議長も先ほどおっしゃったとおり、協議中でありませけれども、今後、区政会議でもご報告させていただきたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

○大垣議長

それでは、グループ討議を行いますけれども、区役所から説明をお願いします。

○西尾課長

それでは、私の方から資料3につきまして、「令和5年度第3回西淀川区区政会議グループ討議について」ということでございます。

今回は、委員の皆様には、先ほどご説明をさせていただいた5つの経営課題のうち、討議へ参加したいテーマについて、皆さん席を移動していただいてご議論いただきたいと思います。「区制100周年に向けた、共創による「選択されるまち」としてのまちの魅力向上」をご希望の方は、前方の1番。「こどもたちがいきいきと育つ環境整備」をご希望の方は2番ということで、こちらの席ですね。そして、「地域コミュニティの機能向上」が3番、真ん中の席でございます。「防災力の強化」を希望の方は後方の、こちらから見ると左側の4番の席ですね。そして、「誰もがいきいきと暮ら

せる温かいまちづくり」は、右の奥の5番ということになっております。

皆さん、ご希望のところに資料等を持ってご移動をいただけたらありがたいと思います。できましたら、人数がそれなりになるように分かれていただくとありがたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

(意見交換)

○西尾課長

それでは、皆さん発表に移りたいと思います。よろしく願いします。

まず、1番ですね。「区制100周年に向けた、共創による「選択されるまち」としてのまちの魅力向上」ということをございます。よろしく願いします。

○吉見委員

こちら、1番の「区制100周年に向けた、共創による「選択されるまち」としてのまちの魅力向上」ということで、グループワークを行いました。西淀川区はいろいろとイベントも多く、とてもすてきな人たちが集まる地域ではあるんですけども、そういった良いところをいかにしてどう情報発信していくか、この魅力あふれる西淀川区をどう情報発信していくかというところで話をしました。

それで、区制100周年ということですので、今いろいろと魅力の発信サポーターもやったり、「おもしろいわ西淀川」というようなSNSで定期的に情報を発信してるものがあるんですけども、今回は区制100周年とありますので、区制100周年というものに特化した広報紙であったり、SNSのチームの発足ということが話に上がりました。今、フェイスブックやインスタを使っているんですけども、「ティックトックを新たに使ってみたりしたらどうか」ということが上がりました。

あとは、「ウェルビーイング西淀川」を今、取組としてされているんですけども、2か月ほど前にやったNスポのようなスポーツイベント、こどもを特に巻き込んだイベントをすることで、親御さんも巻き込んだ取組ができるのではないかと考えております。今、ジュニアリーダーの集まりなどがあるということなので、そういったこと

もたちだけの集まりとして、例えば今、大人たちがこうして集まって区政会議してま
すけども、こども版の区政会議のようなものがあって、こどもたちの視点から見て、
区制100周年に向けて何か面白いことができたらいいい、どのようなお考えがあるか等、
こどもたちの意見を聞くというのも一つかなと思いました。

あとは、コロナ禍でイベント自体が止まっていたというのもあるんですけども、3
年ほど前に、「にしよどリンク」という異業種交流会を通してしていた「MAIDO
にしよど」という異業種交流会、区民ホールで120名ほど集まっていたイベントです
けども、そういったイベントをもう一度再開して、区制100周年にどういう取組がで
きるか企業さんから意見の吸い上げをしていくのも一つかな、という意見も出ました。

何せ、まちの魅力向上に向けまして、「新しいこと、今まであったことも常に刷新
しながら、前向きに取り組んでいきたい」ということをこのテーブルでは話しました。
以上です。

○西尾課長

ありがとうございました。

それでは、次、2番手のグループはございますでしょうか。

○倉方委員

倉方と申します。2番の「こどもたちがいきいきと育つ環境整備」のところでは、
スクールカウンセラーの補充と、「こそだてコンシェルジュ」のことと、アンケート
のことで話し合いました。

スクールカウンセラーの配置について、週1回学校に来てくれる、各学校に来てく
れるというのが大きいことだと確認したんですけど、「週1回でできることが限られ
てくる」、「今日相談したことをまた明日相談したいけど来週まで待たなければなら
ない」といった課題もあるよね、ということと、個人情報カウンセラーが1人で抱
えて、個人情報を安易に周りの人に言えないので抱えてしまって、結局その対応が
できないようなことも課題としてはあるよね、ということになりました。

あと、学校に行けていない家庭のこどもにどう繋がっていくかという工夫についても、「オンラインの活用するのか」「また別の活動方法があるのではないか」と話し合いました。

「こそだてコンシェルジュ」については、チラシがあるみたいです。18歳までの子育てについて、窓口に来たら相談できるし、連絡・予約をしても相談を受けられるサービスですけど、このサービスの内容、他の家庭児童相談員等との役割の違いを明確にした方がいいのではないか、保育所や未就学の人に担当を絞って役割をはっきりさせた方が相談者の目線からして相談しやすいのではないか、という話も出ました。

残り短かったんですけど、アンケートの回答、良いというのが50%をめざすということですけど、残りの50%の方は変わってないか、もしくは悪くなってる方がいるということで、その人をどうするのかという話は出たんですけど、無作為に抽出した中から50%が「良い」と答えるように区全体でやりたいということだったので、頑張りたいと思います。

(拍手)

○西尾課長

ありがとうございました。

それでは、次のチーム、どなたか発表する方おられますでしょうか。

○麻井委員

「誰もがいきいきと暮らせる温かいまちづくり」ということで、8名の方がおられました、なかなかまとめるのも難しかったんですけども、皆様の意見の中で多くは、やはりSOSを発信できない方をどうつなげて、つながるようにするのかというところと、あと、そのためには、小さい、身近な地域での顔見知り、昔ながらの三軒両隣というところがすごく大事になるだろうなって。ただ、今空き家が増えていっていると、これまであった顔見知りがどうしてもぶつ切りになっているとか、そういうのも一方であるよねというところなんです。あと、集まってお話しすることは好きけども、

そこで、例えばちょっと会費がいるとか、そうなると、年金等も減っている中、お金、先立つものお金っていうところで、お金がある参加というのがなかなか厳しい、高齢者の方は見てるよねというところと、あと、私たち含めて、いろんなことをして周知はしているんですけども、その私たちの周知の努力がまだまだ届いていないのではないだろうか、どうしたら届けられるのかな、周知の工夫というところも、じゃあどうやってできるんだらうなっていうような意見も出ました。答えは出てないんですけども、その中で、どこかの班でもあったコロナというところをどう取り戻せるかなっていう、やっていくということが、なかなかこの3年間あまり活動ができなかった中で、そこがぶつっと切れてしまっている。少しでもつながっていれば何となく「そんなものがあったよね」というつながりが細々とできたんだらうけども、何かぶつ切りになってしまっているようなところをどう回復していくのかというところで、話は出たんですけど、まとまっておりませんが、そのようなご意見がありました。以上です。

(拍手)

○西尾課長

ありがとうございました。

それでは、次のグループはどなたかおられますでしょうか。

○岡本委員

こちらのグループは、地域コミュニティ機能向上ということで、この4人のメンバーでグループ討議させていただきました。その中にご意見、ここの皆さん、課題認識のところに書いてありますように、地域の担い手となる人材の確保・育成、そういう問題の中で、現実、今はもう本当に、私たち各ボランティアの委員をやっておりますけれども、ボランティアの成り手がいなくなってきたのが今の現実でございます。そして、ボランティアは、昔では無償ボランティアというような時代だったのが、今はもう有償ボランティアじゃないとボランティアをしないという方々がどんどん増えてきたというような時代になってきたということを言いたいなということでご意見が

ございました。

そして、次は町会の加入問題になるんですけれども、今、町会に入ることを拒否される方がどんどん増えてまいりまして、町会費を払うことを皆さん嫌だということで、町会に入らないというようになってきております。町会に入っただくためにはどうしたらいいんだろうという話の中で、例えば子どもを媒体というか、子どもたちからアピールしていただくというような感じで、例えば学校からのアプローチという形で、これは今資料を課長から頂いたんですけれども、「町会ってなあに？」という資料。例えば子どもたちに町会のこのようなものを配って、「お母さん、僕たちは町会に入ってるの？」「いやいや、ちゃんと入ってるよ」「町会ってなあに？町会費はどんなふうに使われてるの？」というように子どもたちの方から親にアプローチしていただくというようなことをやってみてはどうか、というご意見もありました。そして、転入をしてきて、引っ越してきましたね、そこで区役所の方から町会長に連絡が入って、この方が住まわれるよ、じゃあ、町会から今度は班長へご連絡が行って、班長の方から直接引っ越した方にアプローチしていただいて、町会に入っただくよう周知をしていくという方法もあるんじゃないか、というご意見もいただきました。現実、今の世の中、表札を上げない家がどんどん、個人情報というのを盾に表札を上げないおうちがどんどん増えてまいりました。ということは、誰がこの町に住んでるか分からないような状態の町になってきているということです。町会にも入らない、表札も上げないというような時代へなってきたということで、ちょっと危機を感じるねということで、皆さん、ご意見が出ました。以上です。申し訳ないです。

(拍手)

○西尾課長

ありがとうございました。

それでは、最後のチーム、よろしく願いいたします。

○多田委員

防災班の多田でございます。「防災力の強化」というところで議論しまして、たくさん議題が出てまいりました。問題が出てまいりましたけれども、やはり何といたっても津波。西淀川の最大の弱点というか、南海トラフ大地震が起こった場合、116分で津波が到達するというところで、やっぱりこれがあらゆる課題の解決を困難にしているねということが浮き彫りになってまいりました。戦略・行動にも上がってますけれども、避難行動の要支援者の個別避難計画の作成においてですけれども、それを助けるのはいいんですけども、110分強っていうタイムリミットがある中で、どうやって効率よく要避難者を救助していくのか。一つ例として、同じ市営住宅の中でチームをつくって、確実に1階の人、2階の人は上に上げていくということをされてる先進的な取組もありましたけれども、要支援者もプライバシーの問題があって、全てが全て承諾を得て公開されて、それが地域の下に下りてきてる情報ではありませんので、大阪市から提供される要支援者リストだけではなくて、民生委員であるとか、見守りネットであるとか、それこそ町会であるとか、そういうところのいろんな情報をもって優先順位を決めていくべきですよっていう議論も出ていました。

津波関連でいうと、津波避難ビルの確保も進んでいて、西淀川はかなり確保が進んでおりますけれども、一つ盲点として、24時間365日対応してますかねっていうところがあると思います。マンションとか市営住宅とかだとすぐに逃げることができるんですけども、例えば民間のマンションや企業、オフィスだと、土日は開いてないとか、夜間は駄目ですというところもあるので、そういうところも含めて、昼間・夜間、あらゆる状況を加味して充足しているかというところも一つ課題ですよ。あと、地域間の多い・少ないも当然あると思うので、そういうところも一つ盲点というか、これからの課題ですよっていう意見が出ております。

そして、津波避難に関してもう一つ盲点だと議論で出てきたのが、工場の夜勤の方とか、いわゆる在勤者、西淀川にふだん住まわれててずっと西淀川に住んでる方ではなくて、昼間だけ西淀川に働きに来ている人、この方への啓発も大事であろうという

ことです。特に大阪湾岸は昼間人口の方が多くなりがちなので、そういう方に対しての啓発も必要ですよと、その人の避難行動も必要ですよ。

さっきの要支援者の話に戻りますけれども、まず、要支援者個別避難計画を完成させるためには、全員が自分の個別避難計画を持っておくべきですよと。要支援とか、健常者、障がい者にかかわらず、自分の計画を持って、「自分は必ず110分以内にごくに避難できる」という自信ができて、余裕ができた上で初めて「他の人を助けよう」というところになると思うので、地域の防災訓練も毎年やっていますけれども、そこにもうちょっと学習要素も取り入れて、例えば「津波到達まであと何分だ」とか、「ここはどれぐらい浸水するんだ」というところも含めて計画を個人が持つことで、「私はすぐあそこに、大体15分もあれば逃げられるから、じゃあその誰々さんを一緒に連れていくわ」とか、そういうことを初めてできるようになるのかな、というようなことも出ていて、それがこの個別避難計画策定、ちょっと時間かかりますけどね、その策定に対する一つの打開策なのかなという気がしておりました。

そういういろんな方に向けて啓発していく上で課題になっていくのが、意識の高い低いは置いておいて、西淀川は防災意識が高いのか低いのかという議論にもなりましたけれども、高まっていっていると思うんですよ、意識の中で。じゃあ、「私、避難所決めてるんです」って言って、どれだけ正しい避難所を選んでますかねというところ。「小学校に逃げれば良いか」ではなくて、「小学校は絶対いっぱいになるから津波避難ビルも分かっている」というところで、備えの中身というところも啓発していかないといけないんですけど、じゃあそれをどうやって啓発していくのかということでございまして、別に防災、防災と縦で捉えるのではなく、それこそ100周年記念プログラムとも連携して、100周年、万博をもって防災意識を高めていくということもできますよねということも、すみません、私が言ったんですけども、そうですねっというところとか。避難した後の問題もあります。避難所の話です。女性の対応とか、プライバシーの問題であるとか、女性スペース、あるいは男女共同、男女だけではな

く、最近、性の多様性も当然叫ばれていますので、そういう方々の配慮をどうするのか、どういうのが一番いい避難所なのかっていう議論も必要なんですけれども、まず、その前に、西淀川で避難所開設できますかねということなんです。津波で泥かぶってます、いろいろ汚染されてます、二次避難計画によって区民の3分の2は東淀川に逃げてますというところで、災害ボランティアセンターの設置場所も含めて今のままで本当にいいんですかねっていうところは、横に情報を流して、いろんなところで横軸で考えていくべき課題だなということは議論で出てきました。

すみません、長くなりましたが、以上です。

(拍手)

○西尾課長

ありがとうございました。

それでは、議長、よろしくお願いたします。

○大垣議長

今、グループ討議をやっていただいたんですけど、本当にありがとうございます。新しい方も半数入っていただいている中で、なかなかの意識があって良かったかなと思っております。

それでは、「その他」ということで、区役所から何かございましょうか。

○西尾課長

「その他」というところで、ちょっとお時間ください。

資料4でございます。「デジタルツールを活用した区政への区民参加の充実について」でございます。それを開けていただくと、「めざす姿」と書いていますけども、大阪市全体の中で、ウェブ会議方式による委員の区政会議への参加環境を令和5年度中に全区が整えるということと、区政会議委員以外の多くの区民にとって区政への参画が実感できる形の会議運営を令和5年度中に全区が実施ということになっておまして、西淀川区としましても実施を検討しております。まず一つ目、3ページでござ

います。「オンライン開催等デジタルツールを最大限活用した区政会議の推進」ということで、区政会議の皆さんでご希望の方にはウェブ参加方式を導入していこうと考えております。次回の6年3月の区政会議から、ウェブ参加をご希望される方にウェブ参加方式で、T e a m s によって会議を開催したいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。できるだけ皆さん、寄ってお話しした方が良いという方もおられると思いますけど、どうしてもウェブの方がと良いという方もおられますので、そういった選択ができるということで実施させていただきます。

それと、最後の4ページでございます。「動画配信等デジタルツールを最大限活用した区政会議の見える化」ということで、区政会議のウェブ傍聴を実現ということで、後ろのところに三脚を立ててあると思います。あそこでi P a dなりカメラを入れてこちらの様子を撮って、それをライブ配信するということを考えております。次回の令和6年3月の区政会議からライブ配信で、ユーチューブで動画配信をしようと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

説明については以上でございます。

○大垣議長

ありがとうございます。

ただいまの提案についてのご意見、ご質問がありましたら、挙手でお願ひいたします。よろしいですか。

では、次回の区政会議での導入ということでお願ひします。

それでは、ご出席の市会、府会の議員の皆様方から一言ずつお話をしてほしいかなと思いますので、よろしくお願ひいたします。

では、市会議員の佐々木議員からお願ひいたします。

○佐々木議員

皆さん、こんばんは。先ほど各テーブル回らせていただきまして、貴重なご意見、また、いろんなヒントをいただきまして、ありがとうございました。

区政会議もこうやって回を重ねる中で、すごく充実してきているなど大変感じます。といいますのも、いろんな方が意識を持って参加していただいて、どうやったらいろんなことが実現していくのかというのをこうして提案していただいているので、市会でも、区政会議を折角やっているんだから、それをどう実効性あるものにしていくかという議論もさせていただいています。先ほど、ウェブでこれを区民の方が見て、とありましたけれども、これがこの場の中だけではなくて、いかに広めていくか、ここで出た知見というのを、また情報発信していくかというのが大きな課題であるなと思います。

地域の結びつきの強い、そういう町は防災にも強いですし、子育てにも強いですし、また、いろんな意味で見守り、孤立も防いでいけるという意味では、やはり地域の結びつきを強めるというのは一番大切だというのは、本当に皆さん、共通理解していただいているところであると思いますので、そこをしっかりと固めていくということと、あとは情報発信をいかにしていくかというのが課題だなと思います。

私、いつも言っているんですけど、地域に1個デジタルサイネージを作ってくれと、いろんなところで言ってるんですね。何か伝えたいときに、各連合にそういうものが1つあったらすぐに伝わっていくのではないかということで、いろんなところで言ってるんですけど、もう一つ反応があれなんで、区長、どうですかね。すみません。

防災の面から危機管理室に言ったり、区長にいつも言ったり、そうしてみんなが共通理解していきながらすごい取組ができてきているので、あとはどう町会の力を伸ばすっていう。加入率上げるという話もありましたし、さらにここは町会だけじゃない、NPOとかいろんな活動されている方がこうして集ってきている、それをどうまとめて、そして地域の力にしていくかというのが大きいので、すごくいい取組だなと思っています。

市会議員もしっかり力合わせて、そして後押しできるように頑張ってもらいますので、またいろんなヒントとか教えていただいたらしっかり取り組んでまいりますので、

よろしく申し上げます。本日は誠にありがとうございました。

(拍手)

○大垣議長

ありがとうございます。

続きまして、山田はじめ議員、よろしく申し上げます。

○山田はじめ議員

皆さん、こんばんは。今ほどご指名いただきました市会議員の山田はじめでございます。本日はメンバーが代わっての新しい区政会議ということで、各テーブルに分かれて様々に議論を深めていただいて、発表いただいたわけでございますけども、またこれを運営方針（案）の発表に生かせるところは、ぜひお役所のほうでも各課、生かしていただきたいなと思いながら聞かせていただいたところでございます。

そして、先ほど佐々木議員も触れておられましたけども、今度はデジタルツールということで、ウェブ会議の話も出てましたけれども、これ、たぶん阿倍野区あたりが早くからやっていたと思うんですけど、やってみるということで、様々、区政会議のやり方も変えていこうかというようなところもあったところですが、比較的この一、二年ぐらい、こうしてテーブルに分かれていろんな議論を引き出していこうという手法で区政会議開催をされているわけですけども、よその区では例えば分科会形式でテーマを分けてメンバーが分かれて、全体会と分科会というやり方でやっている区もありますので、より議論を深めていく、それをまた区政に生かしていくというのが、どのような運営がいいのかということもまた、大垣議長、また区役所の政策共創課の方でも改めて考えていただければいいのかなと思いながら聞かせていただいたところでございます。

本日は、遅くまでお疲れさまでございました。

(拍手)

○大垣議長

ありがとうございます。

続きまして、山田かな議員、よろしくお願いします。

○山田かな議員

皆さん、こんばんは。遅い時間にお疲れさまです。

今日、初めての方もいらっしゃるという中で、すごく活発な議論だったので、皆様の意識の高さにちょっとびっくりさせられました。

いろいろと各テーブルを回らせて、意見を聞かせていただいた中で、共通してるのが人口減少とつながり不足かなと思いました。こそだてコンシェルジュだとか個別避難計画だとか、そういういろんなヒントになるキーワードがありまして、ぜひ私も西淀川の住民としまして、西淀コンシェルジュになれるように力をつけていく、ここに参加されている方のスキルもアップしていくとますますつながりが強くなっていて、人口減少の分を質の高さで補えるんじゃないかなと思いました。一緒に頑張っていきたいと思います。

失礼します。ありがとうございます。

(拍手)

○大垣議長

ありがとうございます。

続きまして、府会議員の中川議員、よろしくお願いします。

○中川議員

皆さん、お疲れさまです。府会議員の中川誠太です。年の瀬が迫る中、本当に夜遅くまで、まずは本当に皆様、お疲れさまでございます。こういった地域の課題をしっかりと皆さんで共有していく、これは非常に大切なことだなと感じています。

府議会からは一つだけあるんですが、元西淀川高等学校を活用して、そちらに知的障害者の学校が来年4月に開校される運びとなりました。学校名は、出来島支援学校という名前でもう正式に決まりました。来年4月に向けて、地域の皆さんがしっかり

と理解を深めていただいたおかげで今日まで至ることができました。ありがとうございます。

また、今回、この区政会議でいろいろとお話を聞かせていただいている間に、とある総研会社の研究の結果、人口減少というところでいろいろと調査をかけてみたところ、西淀川区は、今から20年後と言われている2043年あたりぐらいには人口が8万人を切るというふうになっているという状況が、研究所として、結果として、一つのデータですけど、上げられてました。そういった中で、人口減少社会と言われる中の、少子高齢化も含む社会課題と言われる中で、皆さんのこういったご意見を活発に聞かせていただいて、皆さんと一緒にこの人口減少に伴う中で、何がこれから大切なのかということをしかりと、さらに皆さんのアイデアをもって進めていければいいのかなと思っております。

町会の加入率というところも、地域によればもう町会費をそもそも払わないという、そういった考え方を持っている人たちも非常に多いということはあると思うんです。特に繁華街と言われている中央区、北区とか、そういったところはマンションを建てても町会費自体払ってくれないというところで、例えば福島区とは違いますが、違う地域によれば不動産会社に近隣対策費という枠があるみたいなんですけども、それを最初から年払いで、もう10年間、10年まとめ払いで払って、もうそれで終わらす地域もあるんだなというように感じています。これから町会というところも含めて皆さんとしかりと何か考えていきながら、こういう人口減少社会と共に、皆さんと一緒になってこれを乗り越えていく方法を模索しながら進めていけたらいいのかなと思っております。

また引き続き、年の瀬も迫りくる中ではありますが、皆さん、体調管理には十分ご注意いただきまして、よいお年をお過ごしください。以上です。

(拍手)

○大垣議長

ありがとうございます。

こうやって区政会議のとき、4議員の先生方はこのように出席いただいて、同じような形で皆さんの意見等聞きながら、また前向きな意見をしてもらいまして、またそれについて行政に言ってくれていると思いますので、どうもありがとうございます。

それでは、最後に区長から、本日の会議に関して総括コメントの方よろしく願いいたします。

○中島区長

どうも皆様、夜遅くまでありがとうございました。熱心に議論をいただきまして、本当にありがとうございました。

私もいろんなところを回って聞いていたんですけども、2つぐらいのキーワードがよく聞こえたなというようなところ、「伝える」と「伝わる」は違う、どうして伝えたら良いか、それからまた、興味のない人にどう関心を持たせて伝わらせるのかというところ、これが皆さんのところで議論されていたなというところがございます。

それからもう一つは、希薄になったつながりをどうつくっていくのかという、つながりですね。この2つのキーワードが、回っているとあちらこちらで聞かれたなと思います。

それで、一つ、つながりという中で、区役所も幾つかの課に分かれているんですけども、問題が一つの問題だけではなくて、解決しようと思ったら2つ、3つに渡らないと解決できないよなというところがありますので、区役所の中でももっとも課の連携を進めていけないといけないなど、必要性を感じてございます。

また、団体様におかれましても、ぜひいろんなところの結びつきを持っていただいて、団体の中でも話をしていただきまして、区役所も交えていただいても結構でございますし、ぜひその中で皆様と一緒に解決できたらいいなと思った次第でございます。

それから、今日の議論の場、非常に有意義だったと思うんですけども、時間が何せ

限られているので、これからというところでもう一步出たらもう一步前進するのではないかと思われる方も非常に多いかなと思ってございます。意見のある方は、今日は担当課長もついておりましたので、そこにぜひ持ち込んでいただいても結構でございますし、同じメンバーで議論しようという、これもありだと思ってございます。ウェブを使っていただいても、いろんな方法あるかと思いますので、「やっぱりもっともこの部分だけ議論したい」という部分がありましたら、ぜひ持ち込んでいただきたいなと思ってますし、私どもの課長の方に「このことをもうちょっと聞きたい」ということであれば、課長の方から皆さんに連絡させていただいて、「この辺をもう少し聞かせてください」ということもぜひやっていきたいなと思っております。

そうした中で、やっぱり先ほど先生方から人口減少というのがありましたけども、今後、日本全体として人口は減少していきます。その中で西淀川を「住みたいね」と思える町にいかにしていくかということが、いろんな面でプラスのいい改善になるのかなと思いますので、私どもも頑張りますので、ぜひ皆様方もいろんな意見ございましたら、区役所に持ち込んでいただいてもいいですし、こことここを繋げてくれというような形でも結構でございます。どんどんコンタクトを持っていただきたいなと。私ども職員も遠慮せずに、逆に言えば皆さんとコンタクト持たせていただきたいなと思う次第でございます。

本当に、今日は皆さん、建設的な意見をどうもありがとうございました。これからもよろしく願いいたします。

(拍手)

○大垣議長

ありがとうございます。

それでは、事務局から何かご案内がありましたら。

○西尾課長

区政会議委員の皆様へは開催案内や事前資料について、ペーパーレス推進の観点か

らメールを基本に送らせていただいています。もし紙をご希望の方は、紙をご希望と言っただけなら紙を送らせていただきますので、どうぞよろしく願います。なお、区政会議の当日については、今日みたいに必ず紙でお渡しさせていただきますので、どうぞよろしく願います。以上でございます。

○大垣議長

今もありましたけども、4議員の先生方、また、区長というようなことで、熱弁を言ったださったと思いますので、この会議で全部の思いを受け取ってほしいかなと思います。今回新しい方もこうして入るようになっていっておりますので、これを前向きの形、後ろは駄目ということで、前に行きながら、今も言われたように、何かというところがあったらそれについて聞いてほしいかなと思います。また、聞いてくれる形ができてきております。議員の先生方、こういう区長だということもありますし、そしてまた、私もこのような立場でここにいる形を取っていること自体がまたおかしいんですけどね、まあまあそのようにしながら、西淀川の発展に前向きに進めていければいいかなと思っておりますので、どんどん意見は言ってもらって結構です。これは無茶だということも言ってもらったら全体で協議し、それをまた、あそこのカメラに映して放送するというので、発信もしてくれるということで、光を投げかけていくのもこの区政会議かなと思っておりますので、すみませんけども、これからもよろしく願います。こちらもこの2人が、次からは彼女も思い切りしゃべっていくと思いますけど、次から遠慮することなく動いていきますので、本当にこのような形でざっくばらんに動いてほしいと思います。私のときはそれが西淀川のやり方かなと思っておりますので、すみませんけど気軽にしゃべりましょう。以上です。どうぞ。

(拍手)

○西尾課長

では、副議長も一言よろしいですか。

○矢口副議長

ありがとうございます。

本日は皆様のお話を聞けたこと、本当に貴重な時間を過ごせたと感じております。

先ほど会長ともお席ご一緒させていただいたんですけれども、その中では、先ほどおっしゃってたとおりの前向きに、何事も前向きにというお話でした。

私たち、区政100周年に向けて目標がございます。目標のあるチームは非常に強いと思います。これからもよろしく願いいたします。次回もぜひお願いいたします。

(拍手)

○西尾課長

ありがとうございました。

それでは、事務局から報告させていただきます。

次回開催につきましては、令和6年3月13日水曜日、議題は「令和6年度西淀川区運営方針案及び予算案について」を予定しております。委員の皆様におかれましては、ご予定いただきますようによろしくお願いいたします。

本日は長時間熱心にご議論いただき、ありがとうございました。